

保護者様向け 放課後等デイサービス評価表

公表日：						
事業所名：放課後等デイサービス めいとくBUDDY						
対象人数（保護者）15人 回収率 73.3%						
		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	ご意見
環境・ 体制 整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか	100%			指導訓練室を1階、2階に設定し、活動プログラムやお子様の状態等に応じて使い分けができるようにしております。
	2	職員の配置数や専門性は適切ですか	90.9%	9.1%		熊本市の定める指定基準を遵守しております、
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされていますか	45%	55%		車椅子を使用される方など、身体面で配慮が必要な方には不便をおかけする環境だと思えます。必要に応じてスロープや手すりの増設などを検討いたします。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、個別支援計画が作成されていますか	100%			今後もご本人の興味、関心をもとにご家族様とも課題を共有しながら、意味のある個別支援計画を作成し、実施してまいります。
	5	活動プログラムが固定化しないよう工夫されていますか	100%			各プログラムでは、すべての子どもたちに満遍なく体験できるよう配慮しております。特に、5領域へのアプローチに偏りが無いよう、また、子ども人気のあるおやつ作りなどは月に1回は体験できるようにしております。
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がありますか	18%	73%	9%	地域の公園や公共施設へのお出かけ、どんどこなどの地域行事へ参加する機会を通して交流の機会を設けております。
保護者への 説明等	7	支援の内容利用者負担等について丁寧な説明がなされましたか	100%			丁寧な説明を心がけておりますが、ご不明な点があればいつでもお尋ねください。
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか	100%			HUG内のサービス提供記録や送迎時の申し送り、お電話など、ご家族様に伝わりやすい方法で共有することを心がけております。
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われていますか	82%	18%		お勤めされているご家庭がほとんどのためお電話でのやりとりがメインになっておりますが、ご都合に合わせて対面での面談を実施しております。
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されていますか	55%	45%		今年度9月にBUDDY×FAMILYミーティングを開催いたしました。また来年度も計画いたしますので、ご期待ください！
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか	91%	9%		今年度苦情はいただいておりませんが、苦情受付マニュアルに沿って誠意を持って対応いたします。また、苦情に限らず、ご意見・ご要望についても広く受け付けてまいります。
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%			HUでは営業時間外でもメッセージをお送りいただける点が強みだと感じます。今後にご活用ください！
	13	定期的に開放やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか	100%			HUGやInstagramを通して活動の様子をお知らせしています。また、HUG内『活動記録』でも、定期的にマニュアルやイベント、自己評価の結果についてご紹介、ご報告しております。
	14	個人情報に十分注意していますか	100%			個人情報については、法人共通のマニュアル・行動指針等に基づき適切に取り扱っております。
非常時 等の 対応	15	緊急時等対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか	55%	45%		非常時の各種マニュアルを整備しております。HUG内『活動記録』でもご紹介いたしました
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか	91%	9%		放課後等デイサービスには年2回以上の避難訓練が義務付けられており、今年度は消火訓練、避難・通報訓練、地震想定避難訓練、不審者想定避難訓練を実施いたしました。今後も熊本地震の経験を生かし、公衆電話の使い方など有事の際に役立つスキルが得られるようなプログラムを提供して参ります。
満足 度	17	こどもは通所を楽しみにしていますか。	100%			▶ガチャガチャできるのを楽しみにしているの で、いつも楽しんで通っている。 ▶とても楽しんで通っています。 ▶とても楽しみにしており休みの日はがっかり しています。 ▶「楽しい」と笑顔で通所してくれているので 安心して就労することができています。
	18	事業所の支援に満足していますか。	100%			▶とっても満足しています。 ▶とても満足しています。 ▶大満足です。 ▶子どもの気持ちを尊重した関わりをしてくだ さっていることはもちろん、相談対応など親も 日々サポートしていただいて、本当に感謝して います。
その他 ご意見 ご要望		▶BBQ、デイキャンプをやりたいと子どもからリクエストがあります。 ▶いつもHUGのコメントを書かずにすみません…。先生たちにはいろいろと工夫してもらって事業所で活動に参加できるように配慮していただき感謝です。いつもありがとうございます。 ▶いつも楽しく過ごさせていただいております。今後もよろしくお願いいたします。 ▶いつも本人に合った支援をしていただきとても過ごしやすいようです。今後ともよろしくお願いいたします。いつもありがとうございます。				

放課後等デイサービス自己評価表

公表日：
事業所名：放課後等デイサービス めいとくBUDDY

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		指導訓練室が1階、2階にあり、その他学習スペースやプレイスペースを設けています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		熊本市の定める指定基準を遵守しております。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障がいの特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、簡易洋上のはりょうが適切になされているか。		○		車椅子、身体面で配慮が必要な方にはご不便をおかけする環境かもしれません。必要に応じてスロープや手すりの増設などを検討いたします。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子供たちの活動に合わせた空間となっているか。	○		活動プログラム（調理や運動など）やお子様の状態に応じて使い分けができるようにしています。施設内は毎日清掃と安全点検をしています。	
	5	必要に応じて、子供が個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		学習スペースを常設しており、必要に応じてカームゾーン、更衣・静養スペースを設置しております。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○		毎月事業所会議を実施し、定期的に業務の見直しを行なっています。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか。	○		年1回、放課後等デイサービス評価に関するアンケートを実施しています。また、面談やサービス担当者会議等で事業所へのご要望についてもヒヤリングしております。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善に繋げているか。	○		事業所会議や朝礼時に都度意見を集約しております。また、管理者よりスタッフに対して定期的に個別面談を実施しています。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者評価等はまだ実施しておりません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		本人の希望やキャリアに応じて外部研修に参加する機会を設けております。また、事業所内や法人内で内部研修を実施しております。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		めいとくBUDDYのinstagramにて公表しております。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々のアセスメントおよびお子様、保護者様のご意向をお伺いし、必要に応じて関係機関のご意見もふまえ個別支援計画を作成しております。	アセスメントシートや情報収集のシステムについて、チーム全体で取り組める仕組みを構築したいと考えています。
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		個別支援計画の更新月の前月に対象のお子様【ご様子】や【課題】について整理する会議を行なっております。それをふまえてご家族との面談し、個別支援計画の作成を行っております。	個別の支援や支援ツールを進化・深化させるためのカンファレンスを新たに実施する予定です。
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		個別支援検討会議の開催、会議録の回覧、支援の開始時には手順や支援ツールの説明をしています。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		「健康・生活」「認知・行動」「運動・感覚」「言語・コミュニケーション」「人間関係・社会性」の5領域に対して標準化したアセスメントシートを使用しております。	スタッフが収集した情報を、アセスメントシートに集約する新たな仕組みを検討中です。
	16	放課後デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		それぞれの項目に対する具体的な支援内容を設定しております	それぞれの項目について今後も理解を深め、支援内容がさらに充実させていきたいと考えます。
	17	活動プログラムの立案をチームで行なっているか。	○		主に児童指導員が原案を作成し、自動発達支援管理責任者を交えて個別支援計画やニーズに沿った活動が提供できるよう刷り合わせ提供しております。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		スキル獲得のために、反復して実施するプログラム（生活スキルなど）もありますが、めいとくBUDDYの全てのお子様が満遍なく調理や創作、運動、SSTのプログラムに参加できるように調整しております。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		お子様に必要な発達支援ニーズに対して、必要に応じて集団だけでなく個別に課題を設定するなどの対応をしています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行なっているか。	○		朝礼時に職員の動勢や当日のプログラムと職員の役割確認、送迎対応、ご家族からの連絡等、各申し送り事項について確認と打ち合わせを実施しております。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか。	○		お子様の様子で行動面や気持ち面、健康面に関する気づきは日毎の日課チェックシートに記録し共有しています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善に繋げているか。	○		個別課題（宿題も含む）の取り組み状況、活動時のご様子、気づきについて毎日記録をとっています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行なっているか。	○		少なくとも6ヶ月に1回はモニタリングを実施し、継続が必要な場合でも支援内容や目標を見直すようにしています。	月毎に個別支援計画の進捗状況を見直すシステムを検討します。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせさせて支援を行なっているか。	○		4つの基本活動を、生活スキル、運動、創作、SST、外出イベント等に落とし込み実施しています。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行なっているか。	○		おやつの種類や調理活動時の役割決めなど、活動の中で自己選択・自己決定の機会が得られるよう配慮しています。また、お子様が未経験のものにチャレンジし意思形成につながるような機会提供も心がけています。	『障害児支援におけるこどもの意思の尊重・最善の利益の優先考慮の手引き』をもとにめいとくBUDDYらしい意思決定支援を構築していきます。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		自動発達支援管理責任者や必要に応じて児童指導員も同席するようにしています。	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係期間と連携して支援を行う体制を整えているか。	○		必要に応じて地域の保健師や併用利用先の放デイ、保育所等訪問事業所と連携を図っています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行なっているか。	○		新規契約時は、各学校へ送迎開始の旨を文書にてお知らせしております。また、学校やめいとくBUDDYのご様子について気になる点は適宜情報共有を図っております。	下校時間の確認や行事予定については、基本的に保護者様から提供いただくものと考えておりますが、時間割が配布される金曜日には許可を得て確認しております。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		放デイへの移行時担当者会議時に情報共有を図ったり、別途情報書をいただいたりしております。	就学前のご様子について、こちらから情報をいただきに行く姿勢も必要と考えます。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	—			これまで事例はありませんでした。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		子ども部会区部会に積極的に参加し、ケース検討ではめいとくBUDDYの事例提供を行いました。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		地域の公園や公共施設へのお出かけ、川上校区のどんどこなどの地域行事に参加する機会を設定いたしました。	
	33	自立支援協議会等へ積極的に参加しているか。	○		熊本市障がい者自立支援協議会子ども部会の下部組織である子ども部会区部会に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○		ご利用時の連絡帳や保護者様からのコメントを通して、発達面の気づきを共有するようにしていおります。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行なっているか。	○		今年度は同法人の就労系サービス事業所と連携して「こどもみらいセミナー」を開催し、将来の「はたらく」生活についての研修をいたしました。	開催時期や、セミナーの間のお子様の過ごし方について配慮が必要でした。
	36	運営規定、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行なってるか。	○		ご見学やご契約時にパンフレット等を活用し丁寧な説明を心がけています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○		個別支援計画作成に際して、アセスメント面談の機会を設けております。保護者様のご都合に合わせて、事業所内やお勤め先等での面談、お電話で意向を伺っています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		アセスメント面談時に大まかな支援の方向性について考えをお示しし個別支援計画を作成しております。ご説明については送迎時等にできる限り直接ご説明するようにしています。	都合がつかず直接ご説明できない場合がありますが、計画書をお渡し後にお電話で対応するようにいたします。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行なっているか。	○		ご相談は随時受け付けております。対面や電話、メールなど保護者様のご相談しやすい方法で実施しております。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		今年度はBUDDY×FAMILYミーティングを開催し、家族クラフトワークと茶話会を行いました。また、きょうだいにもご参加いただき交流の機会を設けることができました。	
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		法人共通苦情受付マニュアルを整備しております。	今年度苦情はいただいておりますが、誠意を持って対応いたします。また、苦情に限らず、ご意見・ご要望についても広く受け付けてまいります。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○		HUG（オンライン情報共有システム）やInstagramを通じて活動の様子をお知らせしています。行事予定については毎月配布しております。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		個人情報保護規定に基づき取扱しています。	
	44	障がいのあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		言葉での発信が困難な子どもに対しては、必要に応じでコミュニケーションボード、絵カードを活用しています。 また、HUGを通して営業時間外でもご連絡を受けられるようにしています。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		○		地域行事への参加や、AEDを設置していることをお知らせし緊急時に活用していただくなど、地域貢献の取り組みを行います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルの策定と防災訓練、吐物処理等の感染症対応に関する訓練を定期的実施しております。	各種マニュアルについてはHUG内でご紹介しておりますが、紙面配布も必要だと考えております。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行なっているか。	○		感染症、自然災害に対するBCPを策定しております。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		ご利用前に健康に関する留意事項を必ず確認するようにしております。	
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		アレルギーのある食品を把握し、おやつや調理時には提供しないようにしております。万が一接種しアレルギー症状がでた場合の対応についても把握するようにしております。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画を作成し、施設内の安全管理と吐物処理等の感染症対応に関する訓練等を実施しております。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。		○		安全計画についての周知について不十分でしたので、今後HUGや紙面を通して発信してまいります。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		事業所会議内で過去1ヶ月のヒヤリハット事例を振り返り、再発防止について対策を検討し実行しております。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		法人内にて定期的に権利擁護、虐待防止に関する研修を実施しております。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		お子様が怪我をする等不利益を受ける恐れが高い場面での行動制止について、法人内権利擁護委員会（身体拘束防止委員会）に事例を出し、その対応が適切だったか検証を行っています。また、やむを得ず身体拘束が必要となる可能性が高い場面とその際の対応について個別支援計画に記載しております。	